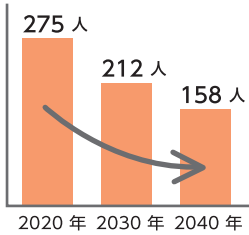


01 子育て

2040年の5歳未満の子どもは？

① 5歳未満人口の推移



5歳未満の子ども的大幅減少が予想されています

結果 保育ニーズの減少

これからどうしたらいいんだろう？



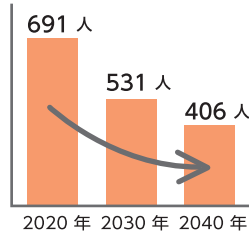
例えば…

- 出生数を増加させるために、子育て世代をターゲットに町内在住者を増加させる施策（移住・住まい・仕事など）をたくさんつくる
- 町立こども園で、特色のある取組（スポーツや英語教育など）を行い、子育て環境を充実させてPRしていく

02 教育

2040年の小中学校は？

② 5歳～14歳人口の推移



1学年が7人程度になると予想されています
（※町内での同級生41人を6小学校で割り戻した場合）

結果 複式学級の導入等

これからどうしたらいいんだろう？



例えば…

- 未来の担い手として、人材育成に力を入れていく
- 子どもたちが将来九重町にUターンしてくれるように、ふるさとを想う心や環境整備をしていく
- 小学校の適正規模を再検討する
- 教育のためだけの学校施設でなく、地域の防災・交流の場としての活用を検討する

05 インフラ・公共施設・公共交通

2040年の私たちの生活は？

インフラとは 生活を支える基盤で、道路や水道等のこと

町道の草刈り作業や地区水道の共同運用等、これまで出来ていた地域の取組が困難になることが予想されています

文化センター等の公共施設や道路・橋の6割が築30年以上になります

結果 建替え等の更新費用は、今後40年間で約654億円かかります。この更新費用は財政を圧迫し、新しい公共施設の整備等ができなくなります

これからどうしたらいいんだろう？

- 例えば…
- どのようにインフラや公共施設等を整備・更新していくかを検討する
 - 新しい道路をつくるのを少なくし、今ある道路も最低限の維持補修にする